

## 21. 熊本大学教育学部附属特別支援学校改善計画書

領域	改善計画（H27. 3. 31現在）	改善状況①（H27. 12. 1現在）	改善状況②（H28. 12. 1現在）
その他 （教育研究支援）	（法人評価までに改善する計画） 若手の教員に対して、教育実習指導のポイント等を押さえさせるため、各（小・中・高）等部のベテラン教員による教育実習指導講座を教育実習前に開催する。	全職員の共通理解のため、教育実習の手引きを利用し、各（小・中・高）学部主事、教育実習担当による説明を行い、周知を図った。	左記の取り組みを通じ、教育実習指導のポイント等についての共通理解を深めた。
	（2年間で改善する計画） 各教員の指導レベルを共通のものにするため、教育実習生の日録に対するコメント内容や評価基準等について各（小・中・高）等部で検討会を開催する。	評価の公正さを確立するため、事前に教育実習部による説明会を計画した。二人担任制のため、担任同士と各（小・中・高）学部職員全員ですべての教育実習生の評価について検討することにより、計画を達成した。日録に対するコメント内容や評価基準等について、各学部の実習部が主査となり検討を行ったことで指導レベルの平準化を図ることができた。	各学部での検討会を引き続き開催したことにより、各教員の指導レベルを共通のものにすることができ計画を達成した。
	（次の組織評価までに改善する計画） 各教員の教育実習生への評価力を標準化するため、各（小・中・高）等部及び学校全体での評価検討会を実施する。	評価基準、評価の根拠に個人差がないように、各学部及び管理職を交えた学校全体の評価検討会を実施し評価の標準化を図った。	学校全体での評価検討会による評価格差の是正結果を再び教員にフィードバックすることで各教員の評価力の向上がみられた。
その他 （初等中等教育）	（法人評価までに改善する計画） 県内に周知するため、本校が取り組んでいる「コミュニケーションに関する実践研究」をホームページ等で情報発信し、H28年2月の公開研究発表会で多くの参加者を得る。	県内及び県外に周知するため、実践の概要と第29回研究発表会の一次案内を8月、二次案内を12月に本校ホームページに掲載した。すでに県外から数件の問い合わせがあっており、計画を達成している。実践集の概要をHPに掲載するなどして、より分かり易い研究内容の周知を図った。2月公開研の参加数はまだ不明。	左記の取り組みを通じ、「コミュニケーションに関する実践研究」についての情報発信を行った。
	（2年間で改善する計画） 本校の実践研究が、広く普及するように書籍として発行し、多くの関係機関で有効に活用してもらう。	平成28年2月の公開研究発表会を開催し、翌年度に実践集等の作成を検討中である。	平成28年2月の公開研究発表会では300人の動員を得て、成果を普及した。平成29年2月も同発表会を予定。また、新たにイブニングセミナーを開始し、年間5回シリーズで、のべ300人の動員予定。
	（次の組織評価までに改善する計画） 「コミュニケーションの熊大附属」と言われるように実践研究の定着を目指して、学会や研究会での発表など、多くの発信の場を確保する。	本校の研究実践を県外にも広くアピールするため、9月に日本特殊教育学会（仙台）、11月に教大協全国特支研究部門合同研究会（神戸）で発表し、計画を達成した。	9月の日本特殊教育学会では、文部科学省知的障がい教育担当調査官等のファシリテートを得て、本校の取組を発表。全国の参加者から多くの関心を得た。12月には県教委主催のシンポジウムで発表予定。
その他 （男女共同参画）	（法人評価までに改善する計画） 本校職員に本学の男女共同参画の取組みを周知するため、男女共同参画推進計画に関する研修会を実施し、本学の育児・介護支援制度についても理解を促す。	男女共同参画に係るポスターを貼付するなどして職員の意識向上を図った。男女共同参画推進計画に関する研修会実施については職員会議等で検討している。	左記の取り組みを通じ、男女共同参画推進計画及び育児・介護支援制度についての理解を促した。
	（2年間で改善する計画） 本校職員の男女共同参画意識を高めるための講演会を実施する。 本学の育児・介護支援制度を本校職員も有効に活用する。	職員の現在の男女共同参画意識を把握するために、アンケートを実施予定。	個別面談等を通じ育児・介護支援制度についての説明を実施。職員一人が時短勤務を活用した。また、職員の現在の男女共同参画意識を把握するために、アンケートを実施する予定である。
	（次の組織評価までに改善する計画） 引き続き男女共同参画意識の向上のため、定期的な研修会を実施する。 本校職員が本学の育児・介護支援制度を引き続き有効に活用する。	育児等の対象職員に個別面談等を通じ、制度説明を行った。研修会実施については職員会議等で検討している。	今後も個別面談等を通じ制度説明を実施し、制度の有効活用を進める。